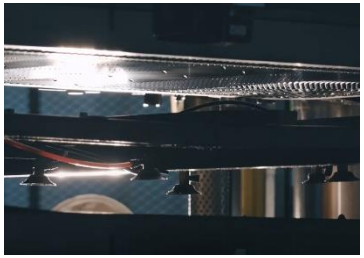
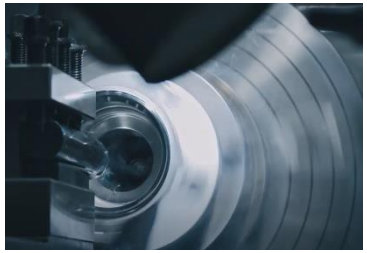
証券コード：6247

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

2023年3月期決算
新中期経営計画
説明会資料





2023年6月1日

株式会社 日阪製作所

目次

■ 会社概要 ・・・ 2

■ 2023年3月期決算の概要 ・・・ 4

■ 前中期経営計画「G-20」の振り返り ・・・ 15

■ 長期ビジョン　CSR-SDGsビジョン ・・・ 21

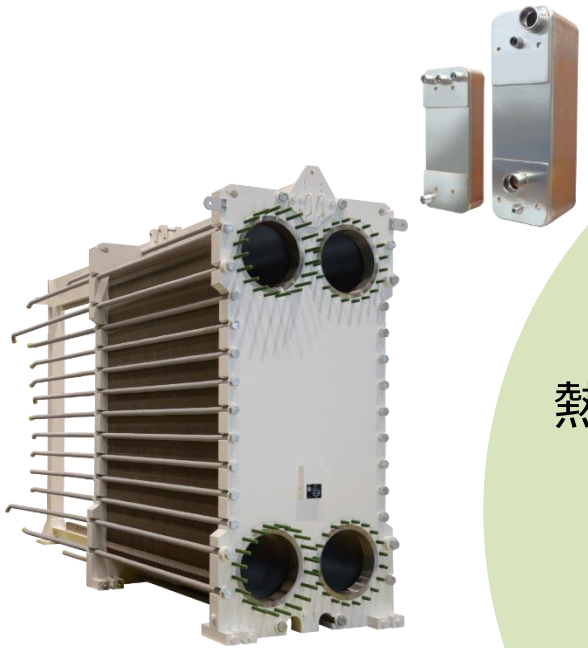
■ 新中期経営計画「G-23」の概要 ・・・ 25

■ 2024年3月期決算の見通し ・・・ 40

会社概要

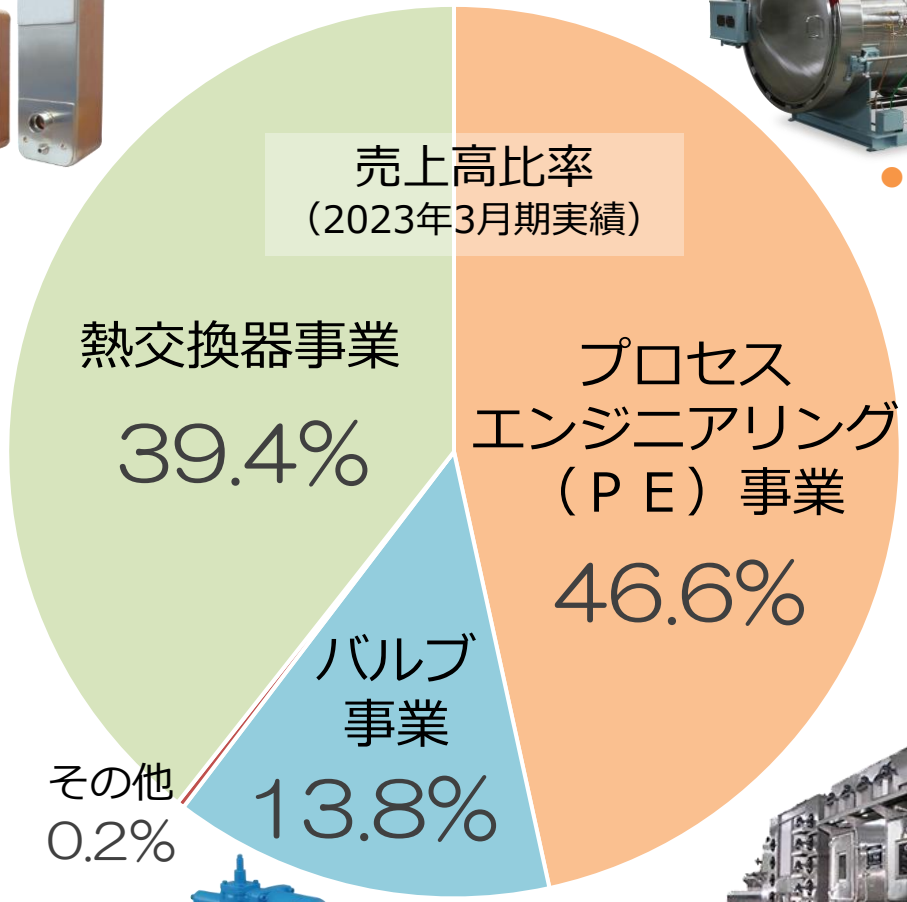
社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所　プライム市場
売上高	340億円（連結／2023年3月期）
従業員数	940名（連結／2023年3月末）
関係会社数	11社（海外関係会社含む）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国 ※2023年３月末現在

日阪グループの事業構成



●プレート式熱交換器

●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置

●液流染色機

●太陽光発電事業
（その他）

●ボールバルブ

●全自動連続殺菌冷却装置
（旭工業㈱）

2023年３月期
決算の概要

1-①. 決算の概要（前期比）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	34,685	―	**34,621**	―	▲ 64	▲ 0.2%
うち、海外受注高	7,118		7,344		226	3.2%
売上高	30,085	―	**34,074**	―	3,988	13.3%
うち、海外売上高	5,908		6,809		900	15.2%
営業利益	1,819	6.0%	**1,912**	5.6%	92	5.1%
経常利益	2,270	7.5%	**2,392**	7.0%	121	5.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,058	6.8%	**2,040**	6.0%	▲ 17	▲ 0.9%

1-②. 決算の概要（計画比）

（百万円）

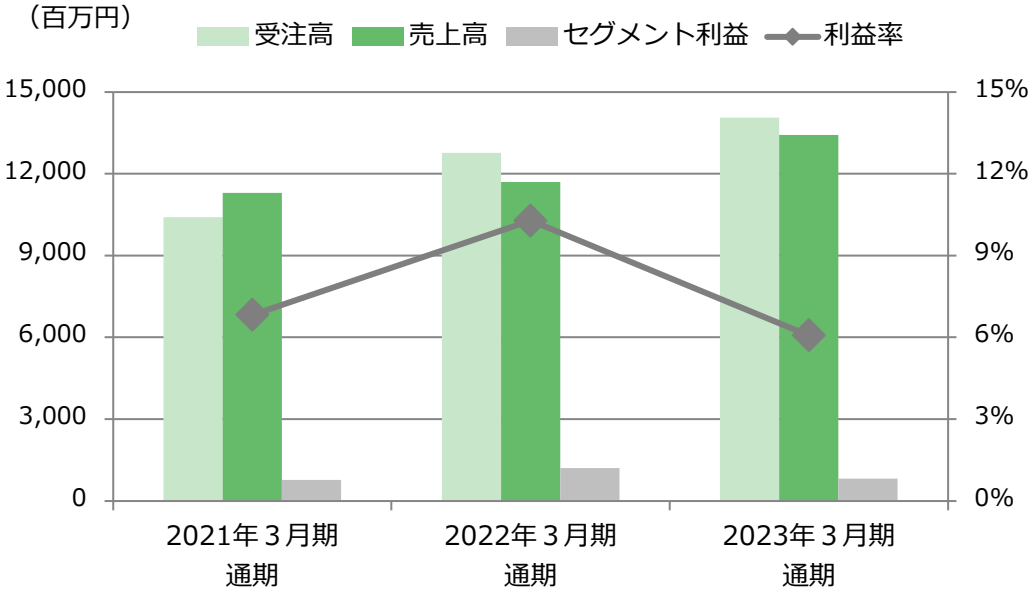
	2023年３月期 通期		2023年３月期 通期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	35,500	—	**34,621**	—	▲ 878	97.5%
売上高	34,500	—	**34,074**	—	▲ 425	98.8%
営業利益	2,500	7.2%	**1,912**	5.6%	▲ 587	76.5%
経常利益	2,800	8.1%	**2,392**	7.0%	▲ 407	85.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,230	6.5%	**2,040**	6.0%	▲ 189	91.5%

2-①. 熱交換器事業

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	12,769	—	**14,059**	—	1,290	10.1%
うち、海外受注高	3,205		3,449		244	7.6%
売上高	11,691	—	**13,418**	—	1,727	14.8%
うち、海外売上高	2,483		3,286		803	32.4%
セグメント利益	1,201	10.3%	**814**	6.1%	▲ 386	▲ 32.2%



＜受注高＞
- ○ 国内外でメンテナンス関連の需要が拡大
- ○ 半導体製造プロセスや空調、給湯器などに使用される中小型汎用品が好調

＜売上高＞
- ○ 受注同様に中小型汎用品、メンテナンスが好調
- ○ 船舶向けが増加

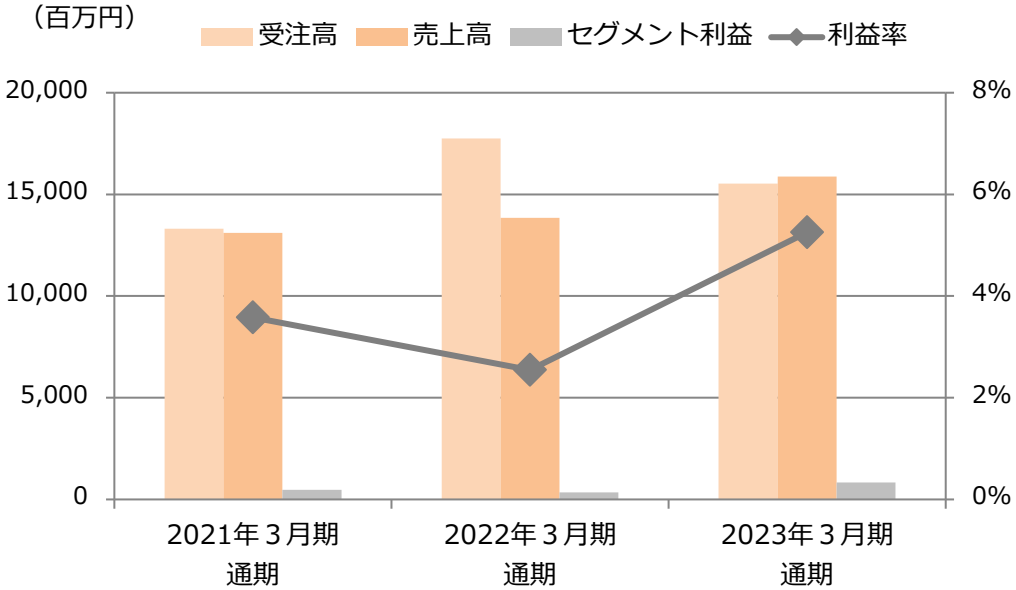
＜セグメント利益＞
- × 製品保証及び貸倒引当金の計上
- × 新基幹システムの導入費用

2-②. プロセスエンジニアリング事業

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	17,748	―	**15,536**	―	▲ 2,211	▲ 12.5%
うち、海外受注高	3,408		3,015		▲ 392	▲ 11.5%
売上高	13,853	―	**15,869**	―	2,015	14.5%
うち、海外売上高	2,624		2,700		76	2.9%
セグメント利益	352	2.5%	**833**	5.3%	481	136.3%



<受注高>

× 原材料や建築資材の高騰による顧客の設備投資見直しや延期

× 前年度に医薬機器、染色仕上機器の大口案件を受注した反動減

<売上高>

○ 海外を中心に染色仕上機器が増加

○ 医薬機器において滅菌装置や培養関連の大口案件

<セグメント利益>

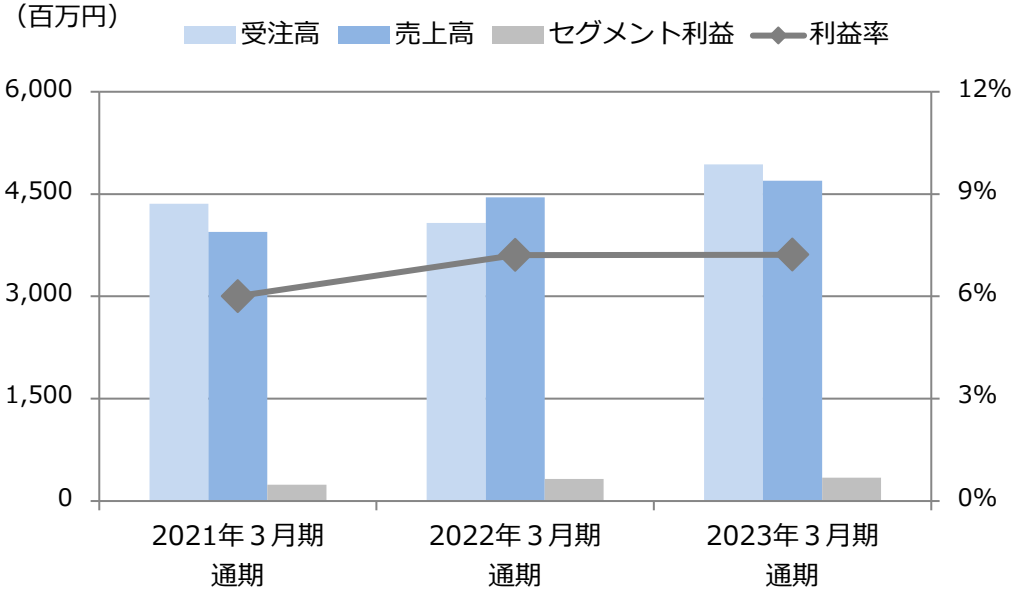
○ 売上高の増加

2-③. バルブ事業

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	4,077	—	**4,934**	—	856	21.0%
うち、海外受注高	504		879		374	74.4%
売上高	4,451	—	**4,696**	—	244	5.5%
うち、海外売上高	800		822		21	2.7%
セグメント利益	321	7.2%	**339**	7.2%	18	5.6%



<受注高>
- ○ 海外の化学向けに大口案件を受注
- ○ 部材確保の動きなどから引き合いが増加
- ○ 二次電池向けの受注が好調

<売上高>
- ○ 海外大口案件を納入
- ○ 短納期品の受注が堅調に推移

<セグメント利益>
- ○ 売上高の増加

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,769	36.8%	14,059	40.6%	1,290	10.1%
プロセスエンジニアリング事業	17,748	51.2%	15,536	44.9%	▲ 2,211	▲ 12.5%
バルブ事業	4,077	11.7%	4,934	14.2%	856	21.0%
その他	89	0.3%	90	0.3%	1	1.3%
受注高	**34,685**	100%	**34,621**	100%	**▲ 64**	**▲ 0.2%**
熱交換器事業	11,691	38.9%	13,418	39.4%	1,727	14.8%
プロセスエンジニアリング事業	13,853	46.0%	15,869	46.6%	2,015	14.5%
バルブ事業	4,451	14.8%	4,696	13.8%	244	5.5%
その他	89	0.3%	90	0.2%	1	1.3%
売上高	**30,085**	100%	**34,074**	100%	**3,988**	**13.3%**

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2022年３月期 通期		2023年３月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	1,201	61.9%	814	39.6%	▲ 386	▲ 32.2%
プロセスエンジニアリング事業	352	18.2%	833	40.6%	481	136.3%
バルブ事業	321	16.6%	339	16.5%	18	5.6%
その他	64	3.3%	66	3.3%	2	3.2%
小計	1,940	100%	2,054	100%	114	5.9%
調整額	▲ 120	—	▲ 142	—	▲ 22	—
営業利益	**1,819**	**—**	**1,912**	**—**	**92**	**5.1%**
熱交換器事業	4,209	22.5%	4,850	25.2%	641	15.2%
プロセスエンジニアリング事業	13,392	71.7%	13,059	67.9%	▲ 332	▲ 2.5%
バルブ事業	1,089	5.8%	1,327	6.9%	238	21.9%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	**18,690**	100%	**19,237**	100%	**547**	**2.9%**

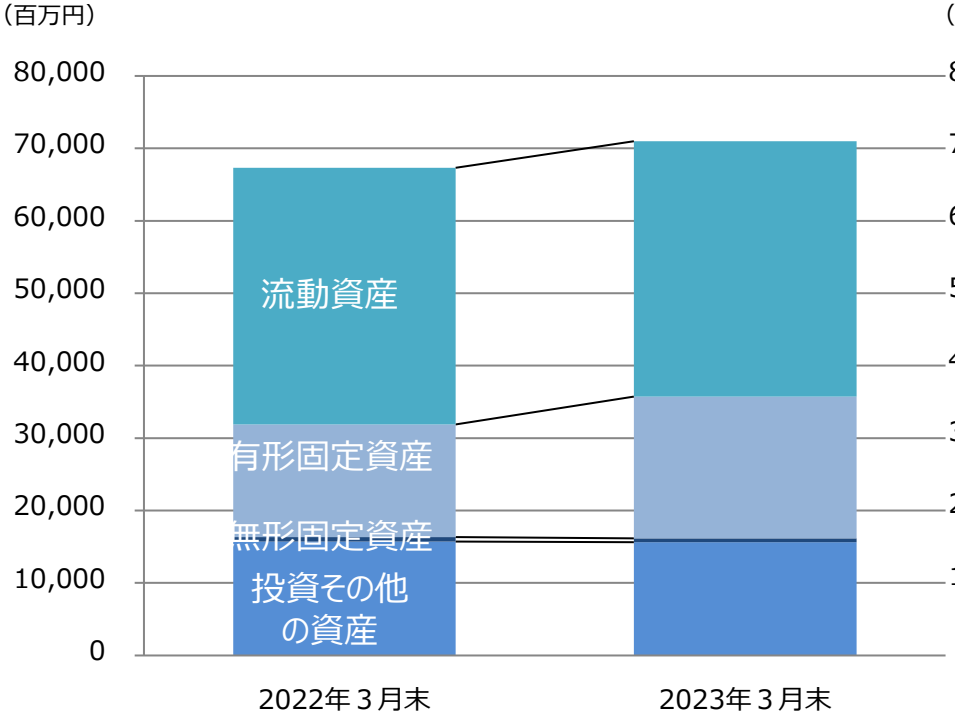
3-③. セグメント別の業績（計画比）

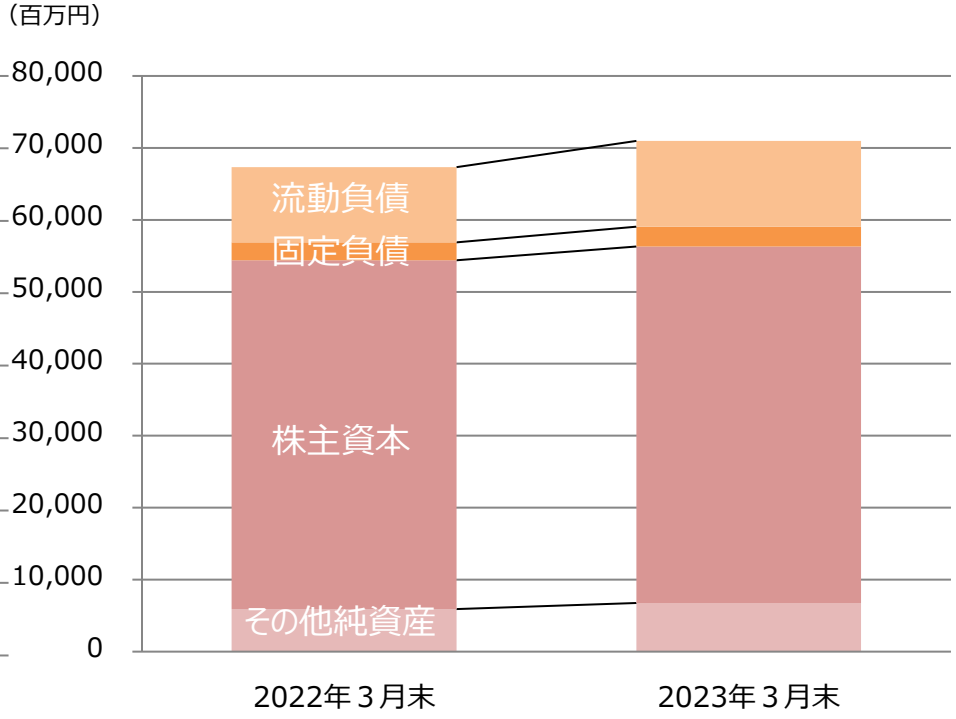
いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2023年３月期 通期 計画	構成比	2023年３月期 通期 実績	構成比	計画比 差額	達成率
熱交換器事業	13,400	37.7%	14,059	40.6%	659	104.9%
プロセスエンジニアリング事業	17,400	49.0%	15,536	44.9%	▲ 1,863	89.3%
バルブ事業	4,600	13.0%	4,934	14.2%	334	107.3%
その他	100	0.3%	90	0.3%	▲ 9	90.8%
受注高	**35,500**	100%	**34,621**	100%	**▲ 878**	**97.5%**
熱交換器事業	13,000	37.7%	13,418	39.4%	418	103.2%
プロセスエンジニアリング事業	16,900	49.0%	15,869	46.6%	▲ 1,030	93.9%
バルブ事業	4,500	13.0%	4,696	13.8%	196	104.4%
その他	100	0.3%	90	0.2%	▲ 9	90.8%
売上高	**34,500**	100%	**34,074**	100%	**▲ 425**	**98.8%**
熱交換器事業	1,320	48.5%	814	39.6%	▲ 505	61.7%
プロセスエンジニアリング事業	1,070	39.4%	833	40.6%	▲ 236	77.9%
バルブ事業	270	9.9%	339	16.5%	69	125.6%
その他	60	2.2%	66	3.3%	6	111.6%
小計	2,720	100%	2,054	100%	▲ 665	75.5%
調整額	▲ 220	—	▲ 142	—	77	—
営業利益	**2,500**	**—**	**1,912**	**—**	**▲ 587**	**76.5%**

4. 資産・負債・純資産の状況





（百万円）

	2022年３月末	2023年３月末	増減額
流動資産	35,404	35,274	▲ 130
有形固定資産	15,562	19,562	4,000
無形固定資産	627	512	▲ 115
投資その他の資産	15,707	15,628	▲ 78
固定資産合計	31,897	35,703	3,805
資産合計	67,302	70,977	3,675

（百万円）

	2022年３月末	2023年３月末	増減額
流動負債	10,442	11,907	1,465
固定負債	2,481	2,767	286
負債合計	12,924	14,675	1,751
株主資本	48,457	49,546	1,088
その他純資産	5,920	6,755	835
純資産合計	54,378	56,302	1,923
負債純資産合計	67,302	70,977	3,675

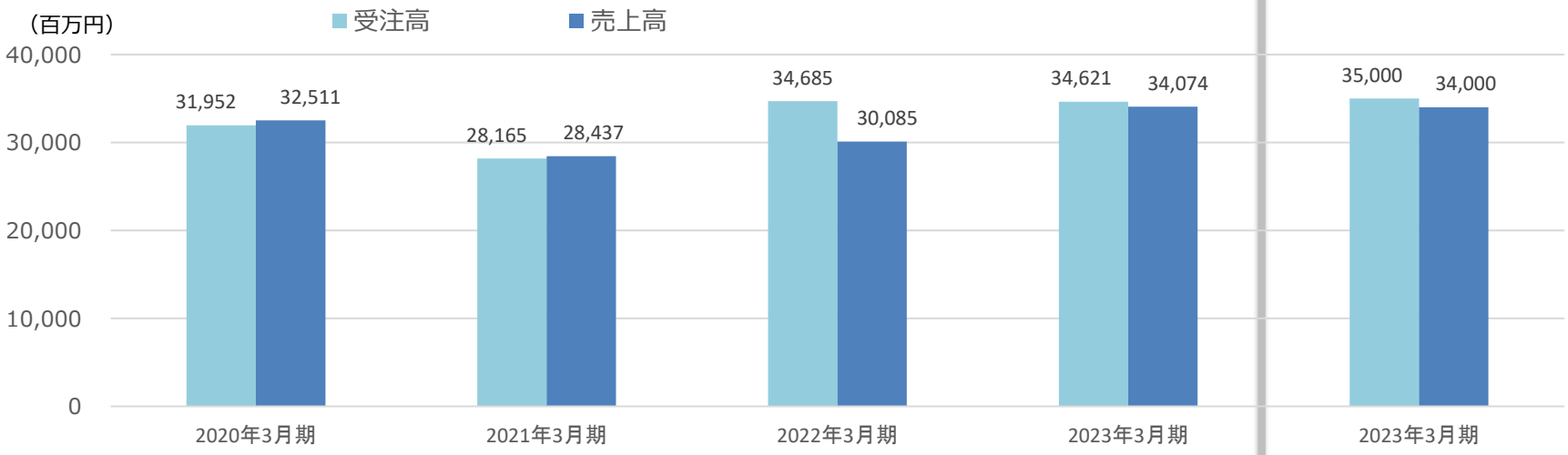
5. 連結キャッシュ・フローの状況

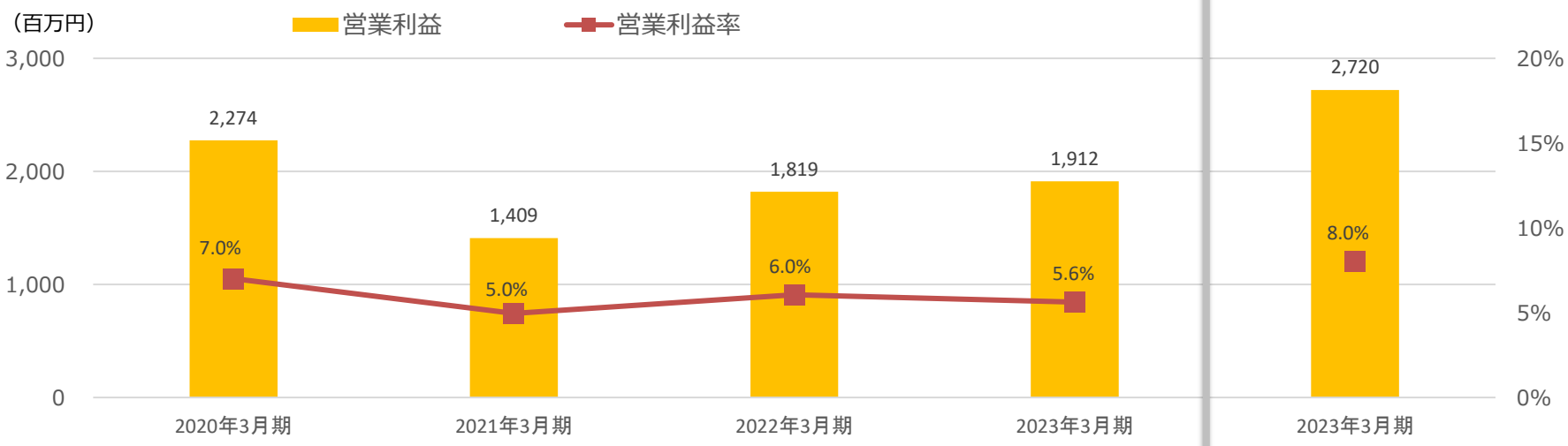
(百万円)

	2022年３月期 通期	2023年３月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,147	**1,485**
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 159	**▲ 2,812**
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 863	**▲ 1,001**
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	58
現金及び現金同等物の増減額	2,219	▲ 2,270
現金及び現金同等物の期首残高	13,922	16,141
現金及び現金同等物の期末残高	16,141	**13,871**

前中期経営計画
「G-20」の振り返り

6-①.「G-20」連結業績推移





実績

当初計画

G－17　G－20　G－20

6-②.「G-20」連結業績推移

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	G－17 最終年度	G－20					増減率
	2020年 3月期 実績 A	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績 B	2023年 3月期 当初計画 C	当初計画 達成率 B / C	B - A / A
受注高	31,952	28,165	34,685	34,621	35,000	98.9%	8.4%
売上高	32,511	28,437	30,085	34,074	34,000	100.2%	4.8%
営業利益	2,274	1,409	1,819	1,912	2,720	70.3%	▲ 15.9%
営業利益率	7.0%	5.0%	6.0%	5.6%	8.0%	▲2.4pt	▲1.4pt
経常利益	2,573	1,765	2,270	2,392	2,920	81.9%	▲ 7.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,080	1,212	2,058	2,040	2,000	102.0%	▲ 1.9%
ＲＯＥ	4.1%	2.3%	3.8%	3.7%	3.8%	▲0.1pt	▲0.4pt

6-③.「G-20」連結業績（セグメント別）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	G－１７ 最終年度 2020年３月期		G－２０ 最終年度 2023年３月期					増減	
	実績	構成比	実績	構成比	当初計画	構成比	当初計画達成率	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	14,059	40.6%	13,200	37.6%	106.5%	1,691	13.7%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	15,536	44.9%	17,400	49.6%	89.3%	555	3.7%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,934	14.3%	4,400	12.5%	112.1%	409	9.1%
その他	78	0.2%	90	0.3%	100	0.3%	90.8%	12	16.0%
小計	31,952	100%	34,621	100%	35,100	100%	98.6%	2,668	8.4%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	—	—
受注高	**31,952**	**—**	**34,621**	**—**	**35,000**	**—**	**98.9%**	**2,668**	**8.4%**
熱交換器事業	12,041	37.0%	13,418	39.4%	12,800	37.5%	104.8%	1,376	11.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	15,869	46.6%	16,900	49.6%	93.9%	▲ 88	▲ 0.6%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,696	13.8%	4,300	12.6%	109.2%	261	5.9%
その他	78	0.3%	90	0.3%	100	0.3%	90.8%	12	16.0%
小計	32,511	100%	34,074	100%	34,100	100%	99.9%	1,562	4.8%
調整額	—	—	—	—	▲ 100	—	—	0	—
売上高	**32,511**	**—**	**34,074**	**—**	**34,000**	**—**	**100.2%**	**1,562**	**4.8%**
熱交換器事業	887	37.3%	814	39.6%	1,200	41.5%	67.9%	▲ 72	▲ 8.2%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	833	40.6%	1,300	45.0%	64.1%	▲ 141	▲ 14.5%
バルブ事業	471	19.8%	339	16.5%	350	12.1%	96.9%	▲ 132	▲ 28.1%
その他	43	1.8%	66	3.3%	40	1.4%	167.4%	23	55.4%
小計	2,377	100%	2,054	100%	2,890	100%	71.1%	▲ 322	▲ 13.6%
調整額	▲ 103	—	▲ 142	—	▲ 170	—	84.0%	▲ 39	—
営業利益	**2,274**	**—**	**1,912**	**—**	**2,720**	**—**	**70.3%**	**▲ 362**	**▲ 15.9%**

※：増減は「Ｇ－１７」2020年３月期と「Ｇ－２０」2023年３月期の比較です。

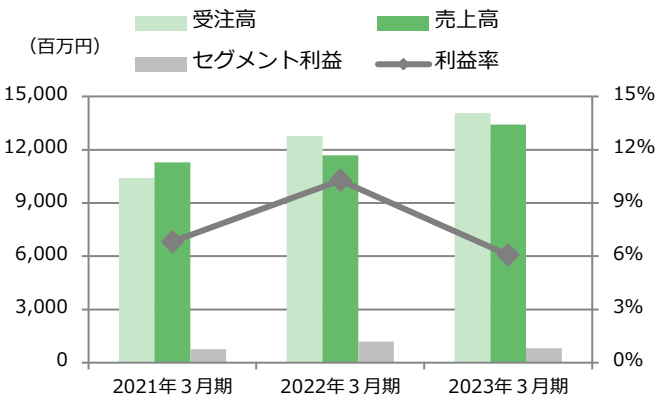
7−①.「G-20」主な取り組み（熱交換器事業、PE事業）

いけ、技術に想いをのせて HISAKA

熱交換器事業

■主な取り組み
①カーボンニュートラル関連市場における幅広い分野において実績付け（CO_2回収設備、水素製造プラントなど）
②社外との協業によりラインアップを拡充。

■「G-20」期間中の業績
半導体、機械、空調、船舶など市況の回復を捉え、受注、売上は当初計画を達成。原材料高騰などにより利益は未達。

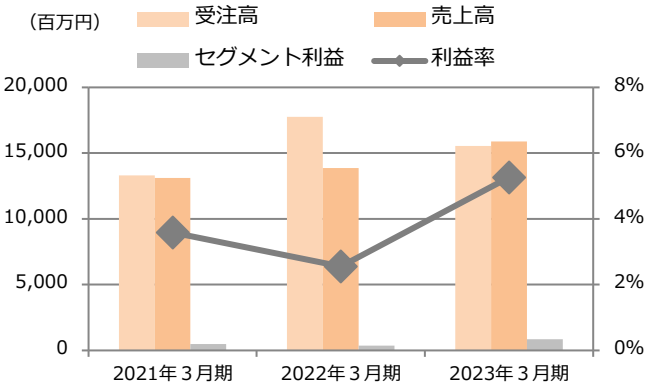


G-20 実績

プロセスエンジニアリング事業

■主な取り組み
①コロナ禍においても海外を含む大型プラント案件を複数完遂。
②小松川化工機株式会社との協業による培養プラント納入、中国における漢方薬向け装置など医薬機器事業を強化。

■「G-20」期間中の業績
食品機器業界においてコロナ禍や世界的な食材価格高騰などの影響により設備投資が冷え込み伸び悩んだ。



G-20 実績

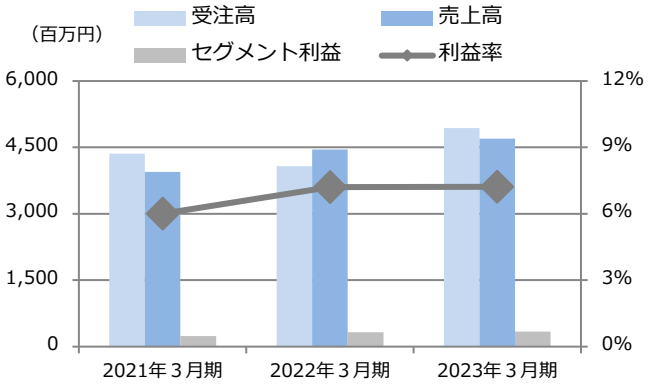
7−②.「G-20」主な取り組み（バルブ事業、全社）

いけ、技術に想いをのせて HISAKA

バルブ事業

■主な取り組み
①用途限定弁の販売を強化。
（半導体や二次電池など）
②営業拠点の拡充や代理店との関係強化により販売網を拡大。

■「G-20」期間中の業績
コロナ禍においても化学業界を中心として安定的に受注を獲得。当初計画を達成。



G-20 実績

全社

監査等委員会設置会社移行、指名・報酬委員会設置などコーポレートガバナンスの強化

モノづくり力強化（生産能力増強、生産性向上）を目的とした新工場「生駒事業所」の開設に向けた取り組み

長期ビジョン
CSR-SDGsビジョン

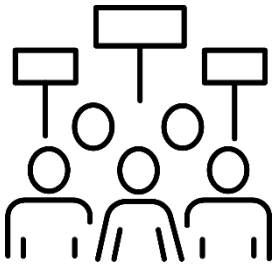
8-①. 長期ビジョン

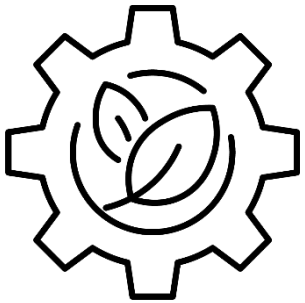
いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

長期ビジョン【2042年度（創業100周年）】

流体の熱と圧力の制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の明日(あした)を、お客様と共に支える企業になる

価値の源泉	提供価値	貢献分野
「総合力」を十分に発揮できる「組織」、「人材」	「社会課題」を解決する「総合力」	「社会課題」に直面するお客様、業界、市場



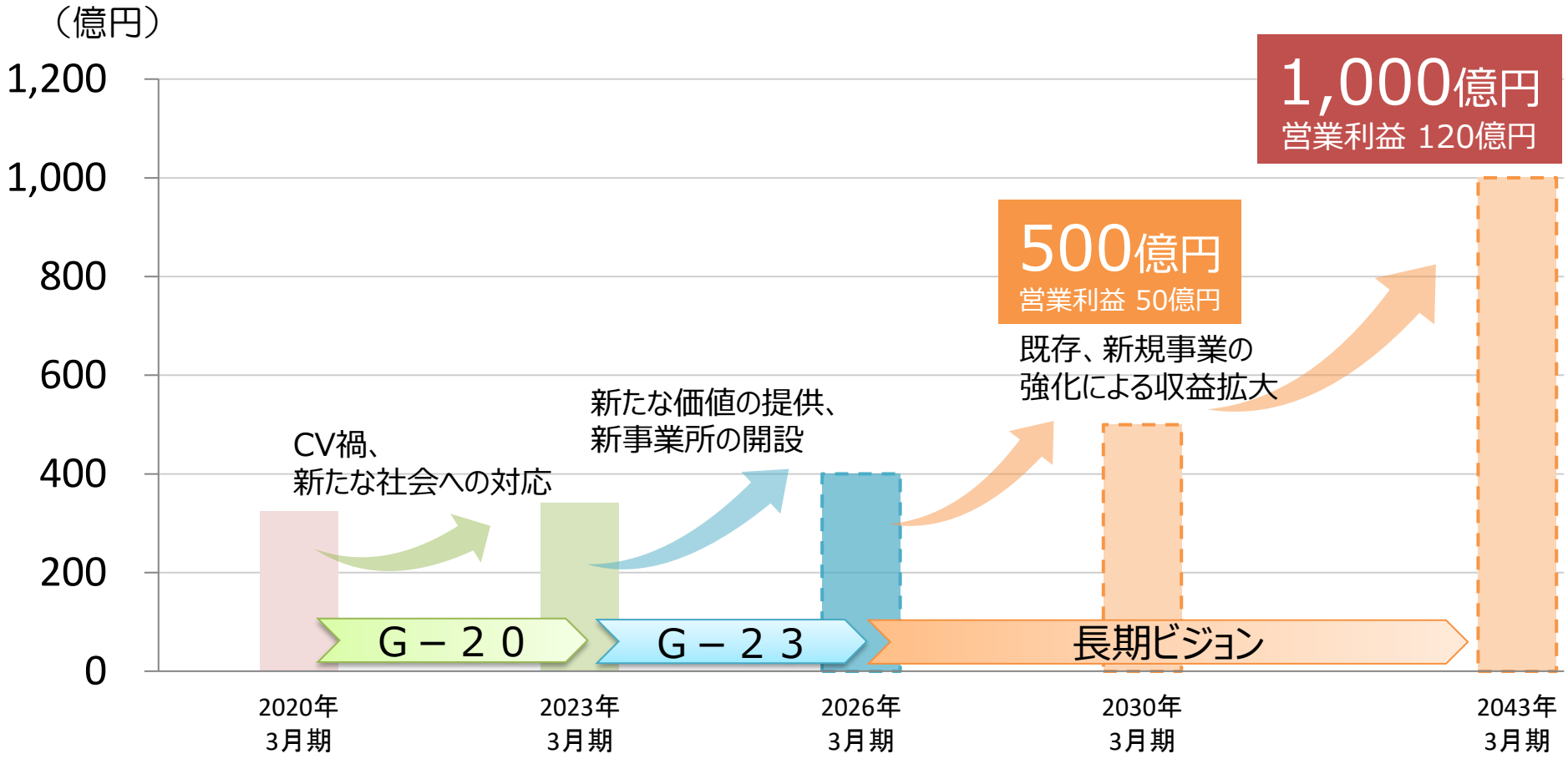


8-②. 長期ビジョン 連結業績目標

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

2043年3月期

売上高　1,000億円　　営業利益　120億円



9. CSR-SDGsビジョン

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れた企業経営により
自らが持つ総合力で社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献する。

①日阪グループの保有技術を活用したソリューションの提供により、顧客の課題及び社会課題が解決できる

②多様性（働き方、性別・国籍・障がい等を含む個性）を活かし、みんなが健康で活躍できる

③災害対応力の強い会社になる

④MOTTAINAI活動（Reduce：減らす、Reuse：繰り返し使う、Recycle：再資源化する）でCO2排出量削減ができる

⑤ガバナンス向上による成長と健全かつ適正な業務運営(コンプライアンス経営)ができる

⑥パートナーシップによる社会課題解決ソリューションの提供ができる

新中期経営計画
「G-23」の概要

10.「G-23」ビジョン、スローガン

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

2023年度～2025年度 中期経営計画

G-23

Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に　活力のある社員集団を実現する

スローガン

技術に想いをのせて　いけ　サステナブル社会の実現に向けて

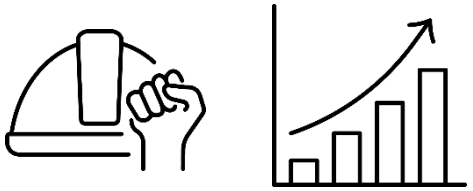
11.「G-23」基本方針

重要課題（マテリアリティ）への対応

事業強化

新事業所の立ち上げ、
既存事業所の再構築

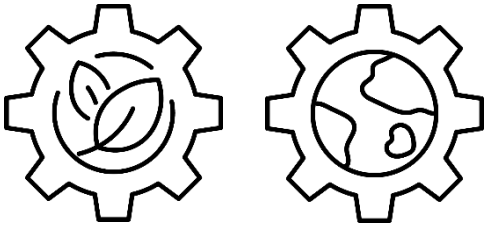
生産体制強化
収益基盤拡大



社会・環境課題へ貢献

新製品・サービス開発の
加速、新事業の探索

サステナブル社会への
貢献



人材育成・体制強化

ガバナンス強化と
ワークライフバランス充実

活力ある
社員集団の実現

E（環境）
- 持続可能な地球環境への貢献
- CO_2排出量の削減

G（企業統治）
- 更なるガバナンスの強化
- ステークホルダーへの公平かつ公正な利益配分

S（社会）
- 活力ある社員集団の実現
- 地域社会とのつながり
- ＢＣＰ運用と継続的な見直し

その他の課題
- 大型投資（新事業所開設、既存事業所再構築）
- 収益力の強化
- 新商品開発促進と新規事業の探索
- ＤＸ、デジタル技術の活用

12-①.「G-23」取り組み指針

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。

社会課題

環境	人口	経済	労働	食	医療
・カーボンニュートラル ・異常気象、災害	・少子高齢化 ・途上国の人口急増	・インフレ ・ローカライゼーション	・ダイバーシティ ・サステナビリティ	・食の安全 ・フードロス	・パンデミック ・介護、医療格差

提供価値

環境 | 安全・安心 | 便利・快適

「G-20」

ニーズに合わせた製品・サービスの開発
- 熱ソリューション
- 医薬品プラント
- 二次電池用製品 等

現場革新活動(HNPS※)の定着

ガバナンス強化
- 監査等委員会設置会社移行
- 指名・報酬委員会設置

生駒事業所建設

「G-23」（新中期経営計画）

G-20からの施策を実行に移す

お客様のニーズに合わせた製品・サービス展開
- 熱ソリューション
- 食品ロス削減、食の安全
- 省エネソリューション
- ニーズ探索力・対応力強化

- 生駒事業所稼働
- 関係会社再編

製品・製造の標準化推進によるQCD改善

さらなる社会課題解決へ長期的な取り組み加速

カーボンニュートラル関連市場向け製品開発、採用拡大

鴻池事業所再構築（生産体制強化）

新基幹システムの導入

サービスの革新

人材採用・育成・働き甲斐向上

長期ビジョン

「流体の熱と圧力の制御技術を結集し、エネルギー・水・食の明日（あした）を、お客様と共に支える企業になる」

CSR-SDGsビジョン

「SDGsを取り入れた企業経営により自らが持つ総合力で社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献する」

社訓

「誠心(まごころ)」

社是

「世界に定着する日阪」
「豊かな人間性の追求」

創業100周年（2042年度）業績目標

売上高 1,000億円

営業利益 120億円

※HNPS：Hisaka New Production System

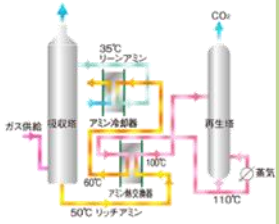
12-②.「G-23」当社が取り組む領域

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

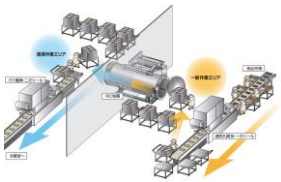
お客様のニーズに合わせた事業展開

環境

脱炭素



食品ロス低減



未利用熱の活用提案

環境配慮型製品/省エネ製品

安全・安心

殺菌（食品向け）

培養

滅菌（医薬向け）

高品質（食品・医療・半導体）

乳化

濃縮

バルブ

便利・快適

サービス拡充

メンテナンス
まるごとぱっく

遠隔サービス（DX）

カスタマイズ対応

ニーズを汲んだ商品開発

チョコ弁

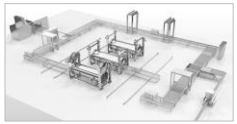
チーム力
対応力強化

自動化対応

事業基盤の強化

機器単体売りからソリューション提供へ

熱ソリューション



FA対応強化

ワンストップ対応
（ラインアップ拡充）

標準品の競争力強化

標準機種刷新
機種の統廃合

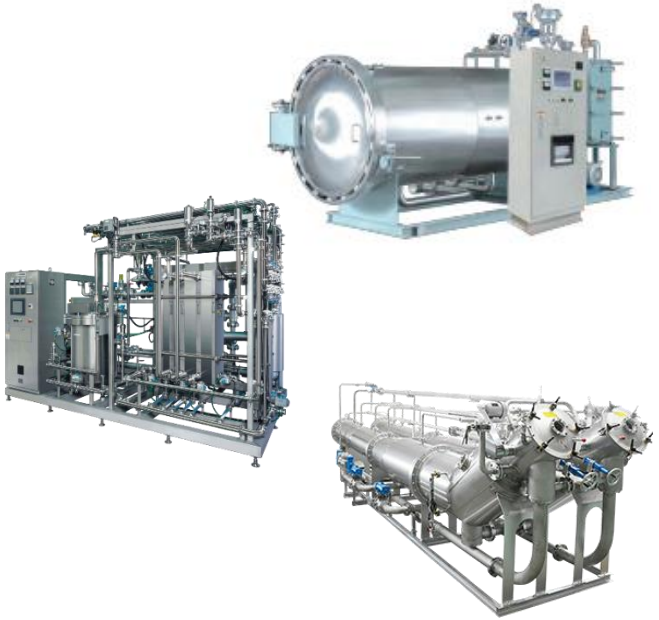
設計標準化
品質強化

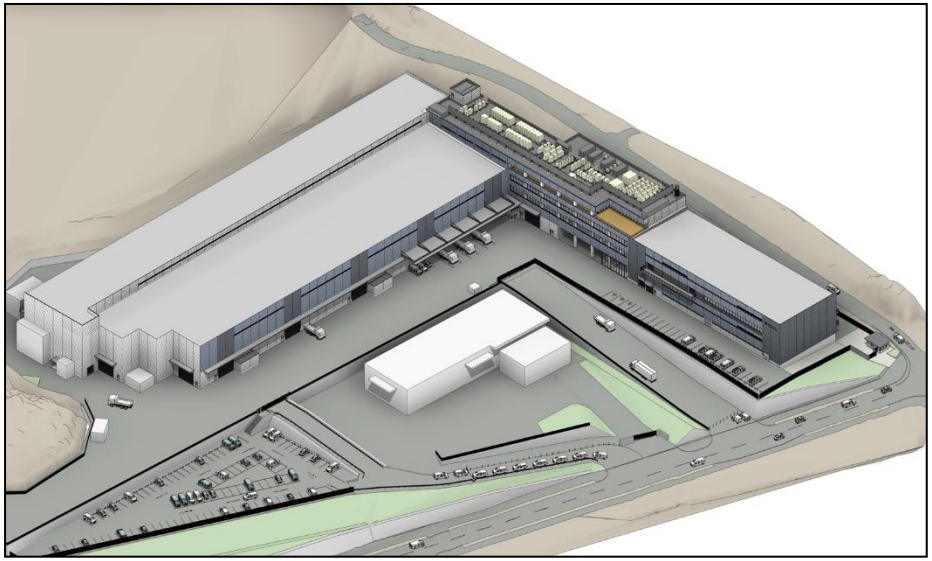
- 生産体制強化
  生駒事業所開設
  鴻池事業所の再構築
- HNPS　HISAKA NEW PRODUCTION SYSTEM
- 販売体制強化
- 人材育成
- 資本政策
- サステナビリティ委員会
- TCFDへの取り組み

13-①. 大型投資（生駒事業所開設）

生産能力増強に向けて新工場を開設

名称	生駒事業所
所在地	奈良県生駒市
生産品目	プロセスエンジニアリング事業 （食品機器、医薬機器、染色機器）
面積	敷地面積 5.2万㎡ ／ 延床面積 2.4万㎡
稼働予定	2023年10月 ※2024年1月にかけて順次移設
人員数	約350名 ※フル稼働時、管理部門を含む
生産規模	約200億円



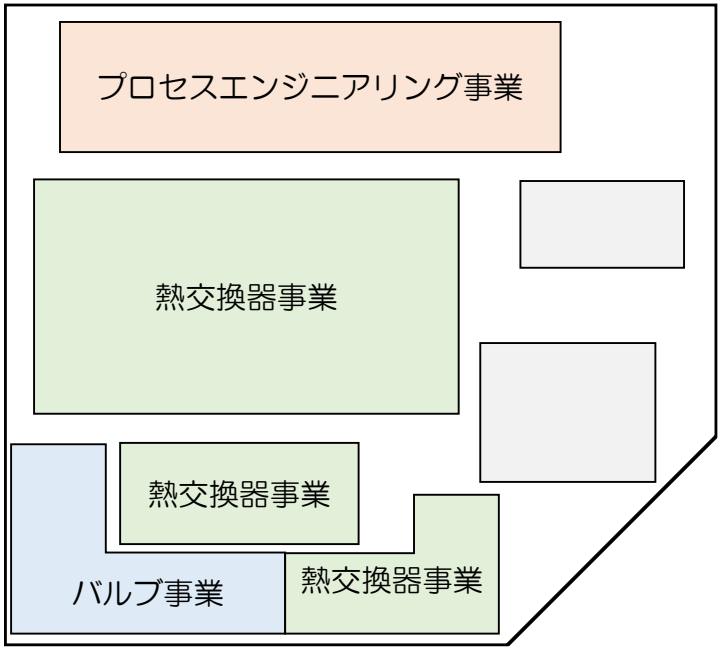


13-②. 大型投資（鴻池事業所再構築）

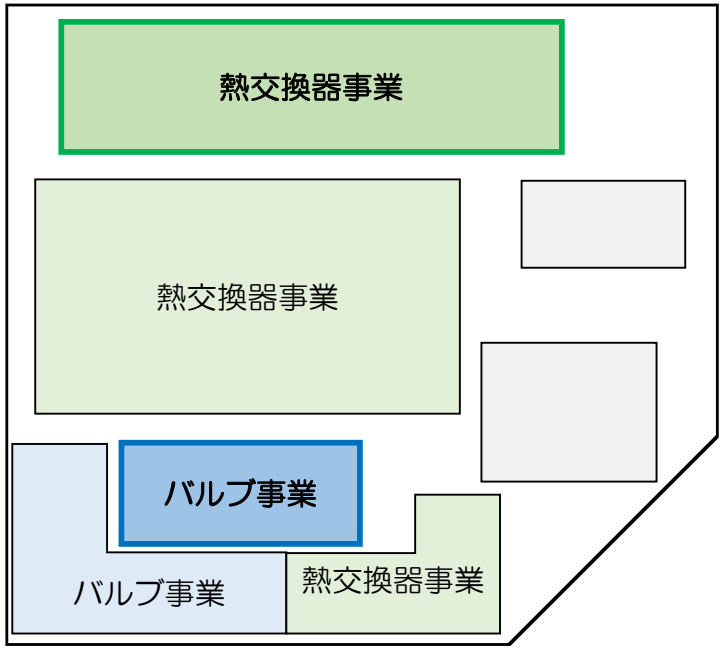
鴻池事業所の生産体制を強化

プロセスエンジニアリング事業の製造拠点を生駒事業所に移転し、空いたスペースで熱交換器事業とバルブ事業の生産体制を強化する。

●現在の鴻池事業所



●再構築後のイメージ



14-①. 熱交換器事業の取り組み

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

事業戦略

<u>熱ソリューションの提供</u>

●熱に関する困りごとを解決する
提案力の向上

●熱交換器、周辺機器のラインアップ拡充

社会課題への貢献

●カーボンニュートラル関連市場への納入

- CO_2回収装置
- 水素製造設備
- バイオマス発電所　など

グローバル戦略

●グローバル生産体制構築による生産平準化
とBCP構築。

●海外メンテナンスサービス強化

大型投資

●鴻池事業所の再構築

●新基幹システムの導入

14-②. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

いけ、技術に想いをのせて HISAKA

事業戦略

<u>エンジニアリング事業強化</u>

- ●複数の機器、前後工程などを組み合わせたプラントの設計、施工
- ●メンテナンス事業強化
- ●グループ会社再編（マイクロゼロ㈱、旭工業㈱）

社会課題への貢献

- ●食品ロス削減・・・食品殺菌装置
- ●医薬品安定供給・・・医薬品プラント
- ●水資源保全・・・染色仕上機器

  などの開発、提供
- ●省人化ニーズへの対応

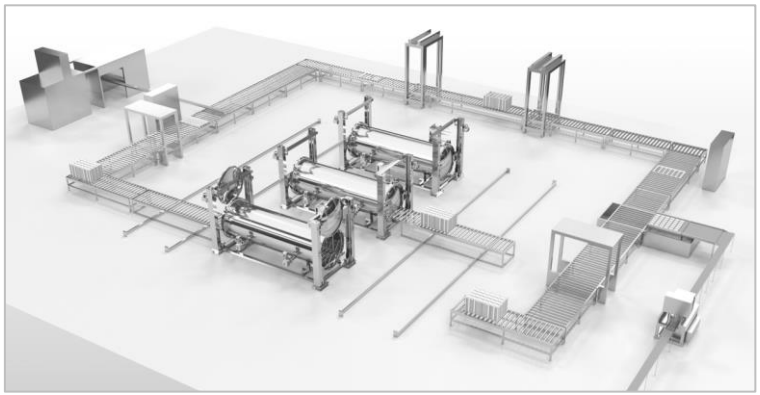
グローバル戦略

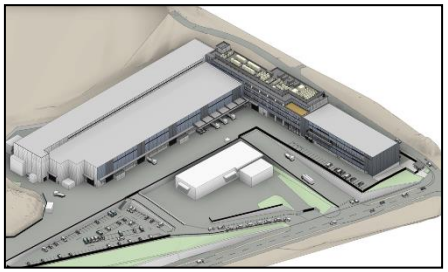
- ●アジア圏向け食品機器・染色仕上機器
- ●中国漢方薬向け医薬機器

  などの販売強化

大型投資

- ●生駒事業所の稼働





14-③. バルブ事業の取り組み

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

事業戦略

<u>顧客ニーズに寄り添う製品の拡充</u>
●用途限定弁（バルブ）のラインアップ強化

社会課題への貢献

●カーボンニュートラル関連市場への納入
（二次電池など）

グローバル戦略

●東南アジアでの販売強化
（現地グループ会社、
販売代理店との関係強化）

大型投資

●鴻池事業所の再構築

15. 資本政策

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「ＲＯＥ」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回るＲＯＥを目指す

株主への利益還元

◆連結業績を勘案しつつ
ＤＯＥ2.0%以上※を
目途に配当を実施

**⇒ 2024年３月期より
DOEの基準を
1.5%以上→2.0%以上へ
引き上げ。**

◆弾力的、機動的な
自己株式取得を実施

戦略的投資

◆経営基盤の強化

→ 新事業所開設
新事業開発

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
ＲＯＥを目指す

強固な財務基盤の確保

◆財務体質の強化

※ DOE:連結純資産配当率
配当金につきましては、
Ｐ45「配当の計画」もご覧ください。

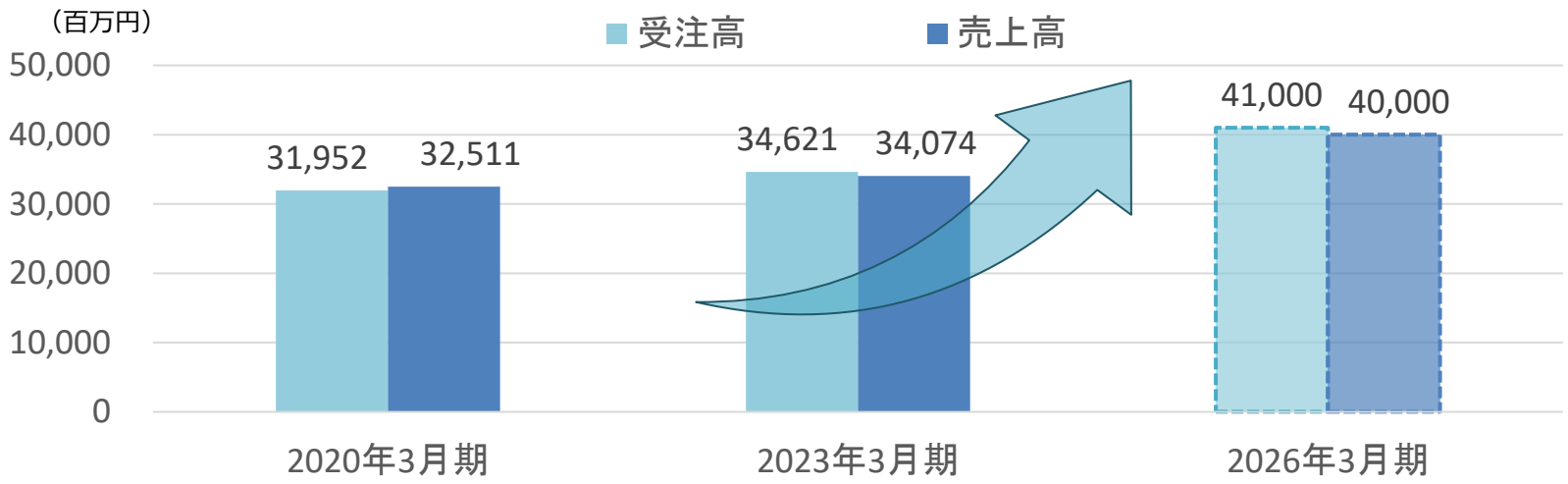
16-①.「G-23」連結数値目標

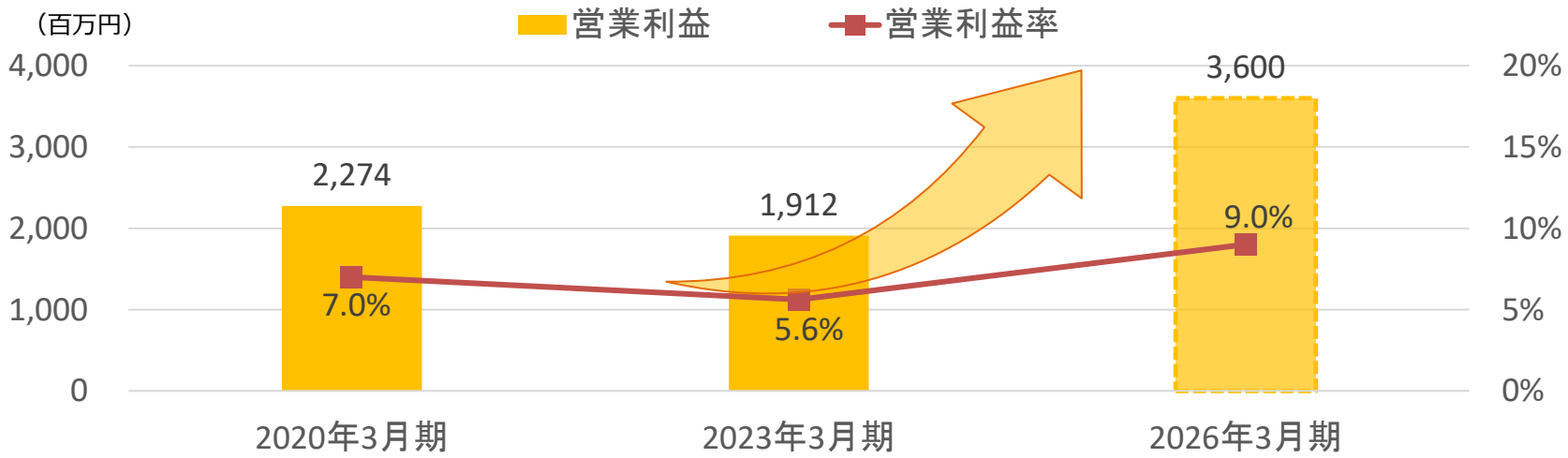
いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

2026年３月期　目標

受注高	営業利益	営業利益率
４１０億円	３６億円	9.0%
売上高	**経常利益**	**ROA（総資産経常利益率）**
４００億円	３８億円	4.9%
	親会社株主に帰属する当期純利益	**ROE（自己資本当期純利益率）**
	２６億円	4.5%

16-②.「G-23」連結数値目標





実績	実績	目標
G－17	G－20	G－23

16-③.「G-23」連結数値目標

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	G－１７ 最終年度 2020年 3月期 実績	G－２０ 最終年度 2023年 3月期 実績 A	G－２３ 最終年度 2026年 3月期 目標 B	増減率 B - A A
受注高	31,952	34,621	41,000	18.4%
売上高	32,511	34,074	40,000	17.4%
営業利益	2,274	1,912	3,600	88.3%
営業利益率	7.0%	5.6%	9.0%	+3.4pt
経常利益	2,573	2,392	3,800	58.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,080	2,040	2,600	27.5%
ＲＯＥ	4.1%	3.7%	4.5%	+0.8pt

16-④.「G-23」連結数値目標

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	G－２０ 最終年度 2023年３月期		G－２３ 最終年度 2026年３月期		増減	
	実績	構成比	目標	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	14,059	40.6%	15,800	38.5%	1,740	12.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,536	44.9%	19,500	47.6%	3,963	25.5%
バルブ事業	4,934	14.2%	5,680	13.9%	745	15.1%
その他	90	0.3%	20	0.0%	▲ 70	▲ 78.0%
受注高	**34,621**	100%	**41,000**	100%	**6,378**	**18.4%**
熱交換器事業	13,418	39.4%	15,300	38.3%	1,881	14.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,869	46.6%	19,000	47.5%	3,130	19.7%
バルブ事業	4,696	13.8%	5,680	14.2%	983	21.0%
その他	90	0.2%	20	0.0%	▲ 70	▲ 78.0%
売上高	**34,074**	100%	**40,000**	100%	**5,925**	**17.4%**
熱交換器事業	814	39.6%	1,800	47.3%	985	120.9%
プロセスエンジニアリング事業	833	40.6%	1,400	36.9%	566	67.9%
バルブ事業	339	16.5%	600	15.8%	260	76.9%
その他	66	3.3%	0	0.0%	▲ 66	▲ 100.0%
小計	2,054	100%	3,800	100%	1,745	84.9%
調整額	▲ 142	—	▲ 200	—	▲ 57	—
営業利益	**1,912**	**—**	**3,600**	**—**	**1,687**	**88.3%**

2024年３月期
決算の見通し

17. 通期計画の概要（上期・下期・通期）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2023年３月期 実績			2024年３月期 計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	16,771	17,850	34,621	**18,400**	**18,600**	**37,000**	1,628	749	2,378	9.7%	4.2%	6.9%
売上高	15,555	18,519	34,074	**17,500**	**18,000**	**35,500**	1,944	▲ 519	1,425	12.5%	▲ 2.8%	4.2%
営業利益	1,021	890	1,912	**1,060**	**1,040**	**2,100**	38	149	187	3.7%	16.8%	9.8%
営業利益率	6.6%	4.8%	5.6%	6.1%	5.8%	5.9%	▲ 0.5 pt	1.0 pt	0.3 pt	–	–	–
経常利益	1,375	1,016	2,392	**1,210**	**1,140**	**2,350**	▲ 165	123	▲ 42	▲ 12.1%	12.2%	▲ 1.8%
経常利益率	8.8%	5.5%	7.0%	6.9%	6.3%	6.6%	▲ 1.9 pt	0.8 pt	▲ 0.4 pt	–	–	–
親会社株主に帰属する当期純利益	897	1,143	2,040	**740**	**760**	**1,500**	▲ 157	▲ 383	▲ 540	▲ 17.5%	▲ 33.5%	▲ 26.5%
純利益率	5.8%	6.2%	6.0%	4.2%	4.2%	4.2%	▲ 1.5 pt	▲ 2.0 pt	▲ 1.8 pt	–	–	–

18-①. セグメント別の見通し(通期)

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

(百万円)

	2023年３月期 通期		2024年３月期 通期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	14,059	40.6%	15,100	40.8%	1,040	7.4%
プロセスエンジニアリング事業	15,536	44.9%	16,750	45.3%	1,213	7.8%
バルブ事業	4,934	14.2%	5,050	13.6%	115	2.3%
その他	90	0.3%	100	0.3%	9	10.1%
受注高	**34,621**	100%	**37,000**	100%	**2,378**	**6.9%**
熱交換器事業	13,418	39.4%	14,800	41.7%	1,381	10.3%
プロセスエンジニアリング事業	15,869	46.6%	15,600	43.9%	▲ 269	▲ 1.7%
バルブ事業	4,696	13.8%	5,000	14.1%	303	6.5%
その他	90	0.2%	100	0.3%	9	10.1%
売上高	**34,074**	100%	**35,500**	100%	**1,425**	**4.2%**
熱交換器事業	814	39.6%	1,730	75.2%	915	112.3%
プロセスエンジニアリング事業	833	40.6%	100	4.4%	▲ 733	▲ 88.0%
バルブ事業	339	16.5%	410	17.8%	70	20.9%
その他	66	3.3%	60	2.6%	▲ 6	▲ 10.4%
小計	2,054	100%	2,300	100%	245	11.9%
調整額	▲ 142	—	▲ 200	—	▲ 57	—
営業利益	**1,912**	**—**	**2,100**	**—**	**187**	**9.8%**

18-②. セグメント別の見通し（上期・下期）

いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2023年３月期 実績		2024年３月期 計画		増減額	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
熱交換器事業	7,006	7,053	7,800	7,300	793	246
プロセスエンジニアリング事業	7,069	8,466	8,050	8,700	980	233
バルブ事業	2,646	2,287	2,500	2,550	▲ 146	262
その他	48	42	50	50	1	7
受注高	**16,771**	**17,850**	**18,400**	**18,600**	**1,628**	**749**
熱交換器事業	6,542	6,876	7,400	7,400	857	523
プロセスエンジニアリング事業	6,673	9,195	7,550	8,050	876	▲ 1,145
バルブ事業	2,291	2,404	2,500	2,500	208	95
その他	48	42	50	50	1	7
売上高	**15,555**	**18,519**	**17,500**	**18,000**	**1,944**	**▲ 519**
熱交換器事業	613	201	860	870	246	668
プロセスエンジニアリング事業	240	593	40	60	▲ 200	▲ 533
バルブ事業	231	107	230	180	▲ 1	72
その他	36	30	30	30	▲ 6	▲ 0
小計	1,121	933	1,160	1,140	38	206
調整額	▲ 100	▲ 42	▲ 100	▲ 100	0	▲ 57
営業利益	**1,021**	**890**	**1,060**	**1,040**	**38**	**149**

19. 設備投資・減価償却の状況

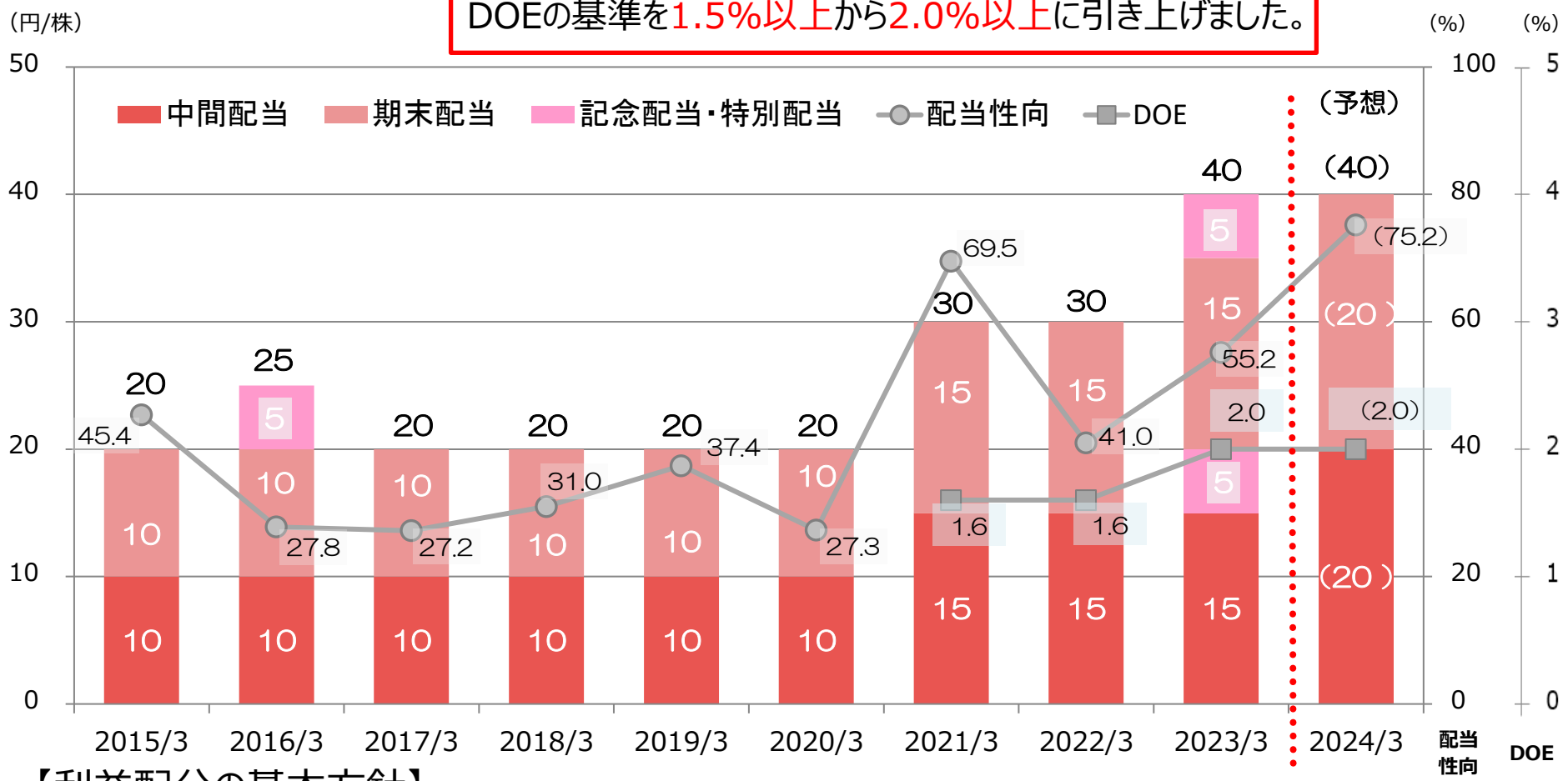
いけ、技術に想いをのせて
HISAKA

（百万円）

	2021年３月期 実績	2022年３月期 実績	2023年３月期 実績	2024年３月期 上期計画	2024年３月期 計画
設備投資	1,424	1,757	4,956	**5,900**	**7,000**
内容	熱交換器事業のソフトウエア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事　など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の造成工事　など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の建築工事　など	熱交換器事業の生産能力増強及びソフトウエア、プロセスエンジニアリング事業、バルブ事業の設備更新、生駒事業所の建築工事　など	
減価償却	997	1,130	1,045	**550**	**1,450**

20. 配当の計画

株主の皆様のご支援にお応えして2024年3月期より
DOEの基準を1.5%以上から2.0%以上に引き上げました。



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)2.0%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

＜お問い合わせ先＞
㈱日阪製作所　経営企画本部 経営戦略部
WEB：https://www.hisaka.co.jp
e-mail：ir@hisaka.co.jp
TEL：06-6363-0015
〒530-0057
大阪市北区曽根崎2-12-7 （清和梅田ビル20階）

株式会社 日阪製作所（ひさか）

～ロゴマークの由来～
日本の「**日**」とステンレス（STAINLESS）の「**S**」を組み合わせデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～
日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「**日**」と大阪の「**阪**」をとり、「**日阪**製作所」と命名した。

（注）本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。